

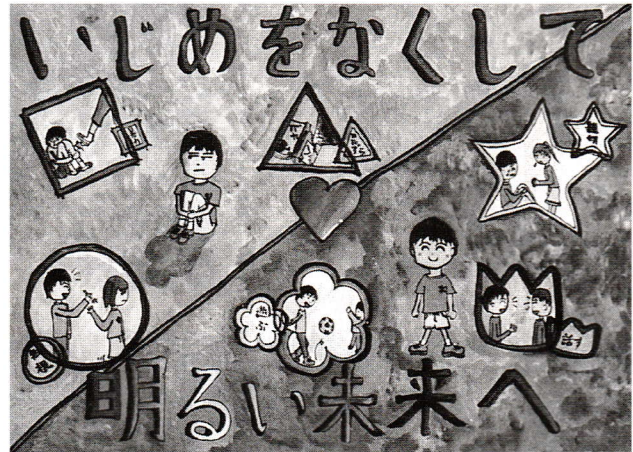


すいかか

荻田町青少年育成町民会議だより



小学1年生～4年生の部
会長賞 南原小学校
3年生 西山友理



小学5年生～6年生の部
会長賞 南原小学校
6年生 大橋りか

心豊かでたくましい
青少年の育成を目指しましょう



中学1年生の部
会長賞 荻田中学校
1年生 板倉亮平



中学2年生の部
会長賞 新津中学校
2年生 松蔭翔吾

健全育成ポスター今年度児童・生徒作品より

11月

全国青少年健全育成強調月間

青少年を明るくのびやかに育てよう

荇田町青少年
育成町民会議

非行防止・シンナー等薬物乱用防止研修会

8月4日(土)中央公民館研修室に
おいて薬物乱用防止研修会が行わ
れ、両中学校PTA・生徒指導部
会・生徒補導部の七十名が参加
しました。元厚生省麻薬取締官の
西岡太郎先生を講師に招き、薬物
乱用の現状について講演されまし
た。その中で薬物使用の低年齢化
や薬物が身近に手に入るようにな
ったこと等の話しをされました。

少年を守っていくかが話されま
した。

薬物使用による体を与える影響を
家庭や地域、学校が連携し、もつ
と青少年に伝えなければいけませ
ん。また、情報交換の場では、身
近になった薬物からどうやって青



いじめストップキャンペーン

町ぐるみで「いじめ」撲滅

9月8日、JR荇田駅・小波瀬
西工大前駅・エル荇田前で、「い
じめストップキャンペーン」を実
施しました。

今回、初めて分散型のキャンペ
ーンでは、ありました。町民会議
委員及びその組織団体の方々、両

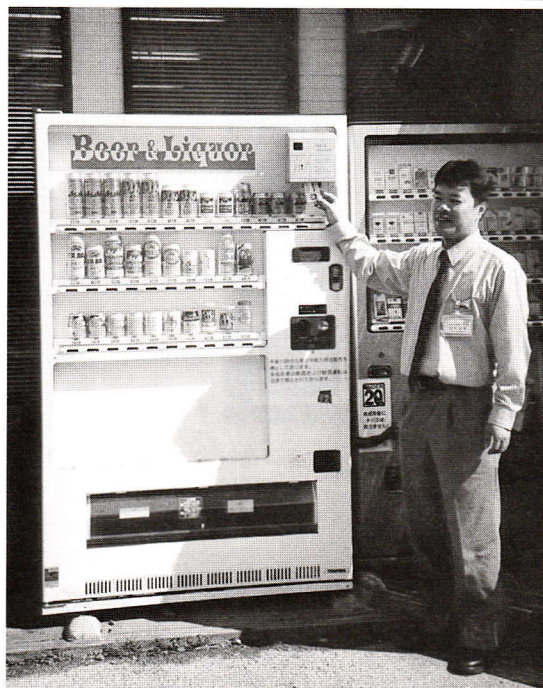
中学校のいじめ対策協議会の皆さ
ん、総勢百十名が町民の皆さんに
呼びかけました。会長伊塚工挨拶
の中では「子どもからの、助けを
求めるサインを見落とさない大人
でありたい」との主旨で話されま
した。



荇田町初の未成年者飲酒防止自動販売機設置店

荇田町大字谷84-1「藤原商店(代表者藤原直子)」
の店頭では、未成年者飲酒防止自動販売機が設置されて
います。

この販売機は、運転免許証で、成人を識別し、酒が販
売されるものです。藤原さんは「最近、未成年者の飲酒、
喫煙者がこの白川校区でも増えており、心配しています。
まだ、この自動販売機設置義務は、まだありませんが、
各店が設置し、子どもの非行防止に協力したいものです。」
と話されていました。



町民会議・3月までの主な事業予定

- 12月○補導環境部会・生徒指導研究部会の合同研修会
- 2月○いじめ防止協議会
- 各地どんと焼き特別補導
- 3月○春休み特別補導
- すこやか37号発行
- 各部会の次年度計画
- 12月○3月○定例街頭補導

平成13年度 「家庭の日」「オアシス運動」 作品町内入選者

賞・氏名 作 品	会 長 賞			教育委員会賞			家庭部会賞		
	氏 名	学校	年	氏 名	学校	年	氏 名	学校	年
作文	中村 拓人	苅田	5	藤崎 陽平	苅田	5	前田 彩	与原	3
絵	門田 絵理	新中	2	田辺 理沙	新中	3	山形 絵莉	新中	3
標語	大谷 祐樹	与原	5	石井 理沙	苅田	3	松田 太一	片島	4
	高瀬 淳一	苅工	1	富永 崇義	苅工	2	畠田 朋彦	苅中	2
書道	須藤 愛	苅田	1	千代丸祐美	南原	1	油布 雄己	南原	1
	岩田 脩作	苅田	2	小田由佳理	馬場	2	江藤 萌々	苅田	2
	田中はるか	苅田	3	向井 優太	南原	3	泉 弘幸	苅田	3
	荒巻 千春	苅田	4	本崎 まみ	馬場	4	岩崎 千尋	苅田	4
	上畑 彰大	南原	5	吉田 香純	苅田	5	古市 葉子	与原	5
	白石 友加	南原	6	加来あやな	与原	6	中野 瑠美	馬場	6
	藤岡 良輔	苅中	2	金丸 奈央	苅中	1	松原美由紀	苅中	3
	金 賞			銀 賞			銅 賞		
作文	松田 太一	片島	4	佐藤 里奈	苅田	3			
絵	岡野 沙織	新中	1	梶原 友希	新中	3	野口詩緒理	新中	1
標語	伊藤法理子	馬場	6	森本 悠介	白川	5	松清 智哉	南原	5
	岩丸 祐一	苅工	3	平野 杏子	苅中	3	足立 浩樹	苅工	3
書道	岡田たから	馬場	1	佐藤 南里	与原	1	青柳 有香	与原	1
	長坂沙智子	与原	2	原 久美	馬場	2	陶山 志帆	南原	2
	広瀬 晶子	馬場	3	山内 章子	苅田	3	須山 和博	与原	3
	松田 太一	片島	4	高辻 博基	南原	4	我有雄一朗	与原	4
	川上 孟亨	与原	5	鈴木 夏美	馬場	5	吉広 望美	南原	5
	宮本 雪絵	南原	6	尾形 愛美	白川	6	岩田侑太郎	苅田	6
	萬納寺 愛	苅中	1	大波多恵未	苅中	3	井上 陽代	苅中	2
	住 作								
絵	相原 美保	新中	2	諸富 真代	新中	3			
標語	望月 舞	与原	4	坂本 梓	与原	5	須田 隆文	与原	6
	高辻真太郎	与原	6	栗田 相子	苅工	1	大池 一吐	苅工	3
書道	大溝 卓	白川	1	中 彩香	片島	2	富村 祐翔	白川	2
	矢々部 篤	与原	3	西本 将也	片島	3	大隈 稔弘	白川	3
	奥田 悟志	馬場	4	吉田佳奈恵	苅田	4	要 さやか	苅田	4
	坂本奈穂子	馬場	5	今村 憲弘	苅田	5	安藤 美希	白川	5
	岡部 彩乃	白川	5	吉梅 龍	片島	5	灰崎 昇吾	苅田	6
	吉崎 祥子	馬場	6	矢々部友里	与原	6	須山恵梨香	与原	6
	小田 葵	南原	6	永松 奈美	苅中	1			

入賞おめでとうございます
よく頑張りました

*家庭シンポジウム時「11月23日」
に表彰いたしました。

* 作品募集状況 *

- 作文 小 5
- 絵 小7 中25
- 標語 小259 中28 高172
計496
- 書道 小4 2 1 中1 2
計433

※苅田工業高校の学生からも応募
がありました。

* 県入選 *

- 奨 励 賞
- 標 語
- ポスター
- 新中1 1
- 苅工3 1
- 与小4 3
- 苅小5 1
- 野 足 望 中
- 口 立 月 村
- 詩 浩 拓
- 緒 樹 舞 人
- 理 樹 舞 人



平成13年度 健全育成ポスター入賞者

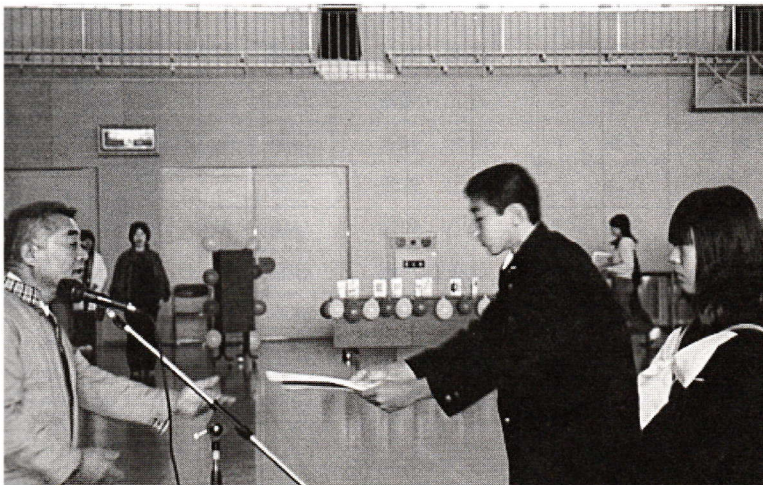
	小学1～4年生の部				小学5・6年生の部			中学1年生の部			中学2年生の部		
賞	氏名	学校	年		氏名	学校	年	氏名	学校	年	氏名	学校	年
会長	西山 友理	南原	3		大橋 りか	南原	6	板倉 亮平	荻田	1	松蔭 翔吾	新津	2
教育委員会	石井 里沙	荻田	3		見立 理紗	南原	6	片山 綾香	荻田	1	造酒 貴史	荻田	2
健全育成部会	渡辺亜加里	白川	3		竹井 奈美	南原	6	江副 友希	荻田	1	本崎 恵	荻田	2
金	末松 丈典	南原	4		菅原由加里	与amp;原	5	増田 仁美	新津	1	藤原 沙世	新津	2
銀	木下ちひろ	与amp;原	4		愛甲奈津美	南原	6	山本 みか	新津	1	大隈 裕香	新津	2
銅	白川 瑞紀	与amp;原	4		木崎 美桜	南原	5	森 智康	新津	1	尾倉 哲郎	新津	2
佳作	山本 彩加	南原	3		塚崎 雄介	南原	6	木山 幸司	荻田	1	高田ゆかり	新津	2

* 作品募集状況 *

小学校1年生～4年生 22点 5年生・6年生 73点

中学校1年生 25点 中学2年生 21点

※子どもフェスティバル時（11月11日）に表彰いたしました。



「協力する生活」

「家庭の日」 「オアシス運動」 作文集より

荻田小5年 中村 拓人

ぼくの家は、お父さんが、一年間出張に行っています。だから、みんなで協力して、おとうさんがいなくても、がんばっています。お母さんは、洗たくや、ご飯を作ったり、ぼくや妹、弟の用事として、とても大変そうです。だから、ぼくたちも、自分で出来ることは自分ですると思います。

この前は自分ですると思います。この前、弟がわがままを言いました。お母さんは、一生懸命、注意していましたが、弟は、分かんないでいました。そこでぼくは、お父さんの代わりにおこりました。お母さんだけじゃなく、僕も大変です。

お父さんと会えないけど、電話やメールを送ったりしています。お父さんは、ぼくたちに用事があると体調がわるくても帰ってきてくれます。かぜをひいても、会社に行ったら家族のためにすぐがんばります。

♥ 町内小・中・高校生の標語集より

- あいさつは 心と心を つなぐ橋 (荻田3年 石井 里沙)
- ありがとうすみませんきちんと言える子すなおなお子 (片島4年 松田 太一)
- 話そうよ 今日の出来事 夕食で (与amp;原4年 望月 舞)
- 家族はね いつもぼくらの たからもの (与amp;原4年 高辻真太郎)
- あいさつは 心を開く 魔法の鍵 (与amp;原5年 大谷 祐樹)
- スマセン 言える心を そだてよう (与amp;原5年 坂本 梓)
- オアシスは ぼくと あなたのかけ橋だ (白川5年 森本 悠介)
- スマセン ケンカにならず いい気持ち (南原5年 松清 智哉)
- あいさつが みんなの笑顔を作りだす (馬場6年 伊藤法理子)
- 家庭って やさしい気持ちをもち 場所 (与amp;原6年 須田 隆文)
- あいさつは 心が和む 合い言葉 (荻田2年 畠田 朋彦)
- ありがとう 感謝の気持ちで 心をつなぐ (荻田3年 平野 杏子)
- あいさつは 心を見せる 内視鏡 (荻田1年 高瀬 淳一)
- 毎日の 一つあいさつ 心掛け (荻田1年 栗田 相子)
- あいさつは みんなが使う 共通語 (荻田2年 富永 崇義)
- あいさつは 人を元気にする 言葉 (荻田3年 岩丸 祐一)
- ありがとう 一言あれば 皆笑顔 (荻田3年 足立 浩樹)
- いつまでも 心のこもった あいさつを (荻田3年 大池 一吐)

※今年度も町民会議・家庭部会では、標語の中より小立看板を各学校の周辺に設置する予定です。

ばつてくれています。そういうお父さんが大好きです。ぼくたちも、がんばろうと力がわきます。お父さんの抜けた穴は、さびしいけれどお母さんも、がんばっているからぼくも協力して、お母さんを楽にしてあげたい。それに、お父さんも速くで一人でがんばっているのだから、安心させてあげたい。

平成13年度「荻工祭」が10月26日(金)、27日(土)両日行われ本校生徒の指導による「モノづくり教室」は、小・中学校及びその保護者の方々が参加され、大変好評でした。

機械科

キーホルダーの制作を行い、多くの方でオリジナルあふれるキーホルダーを制作することが出来ました。

電気科

電球のホヤを制作し、スイッチなどを取り付け、電気スタンドの配線をして、きれいな作品ができました。

情報技術科

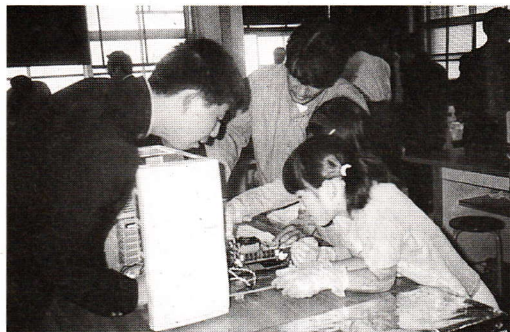
パソコンの制作にチャレンジし、ケースに各部品を取り付け、フロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブ、更にハードディスクの取り付けを行い完成させることができました。

今回、参加者の方から、「楽しく制作することができました。」「また参加したいです。」との感想をいただき、盛況のうちに終了することができました。

指導した生徒は「うまく製作の手伝いができて良かった。」「説明しながら、アドバイスができ、自分も勉強になった。」「教える立場の人の気持ちがわかった気がした。」



スマイルひろば交流事業



大変だがやりがいがあった。反省する部分もあるが、それ以上にたくさんの事を得たと思う。●小・中学生と一緒に活動してみ、めったにないことなので、一緒にやっていくことが楽しかった。

●参加してくれた小・中学生の人達を教えるのは、結構難しかったけど、なかなか楽しく製作ができたと思う。教えることで、自分も理解することができた。との感想でした。

荻田工業高校は地域に根ざした「モノづくり」を中心とした教育活動を通して地域に開かれた学校づくりを行っています。今後とも地域の方のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

小中学生の皆さん、参加しませんか？
荻工生が工作の指導をします
—あっ、できた！楽しいモノづくり教室—

工作の内容	月 日	時 間	対 象	募集人数	活動場所
魚釣り道具の製作 (PART II)	12月 8 日	10:00 ～ 12:00	小学生	20名	荻田町 中央公民館
パソコンミュージック (ソフトウェアMIDIを用いて、パソコンで音楽を楽しむ。)	12月 8 日	10:00 ～ 12:00	小中学生 親 子	10家族 程 度	荻田工業高校

- ・対象者は、荻田町内にお住いの小中学生及びその保護者に限ります。
- ・参加を希望される人は、直接、電話で荻田工業高校へ申し込んで下さい。
なお、参加申込者が募集人数に達しましたら締め切ります。
- ・参加料は無料です。

お問い合わせ先及び参加申込先
福岡県立荻田工業高等学校「サタデー・スマイルひろば事業」 実行委員会事務局
TEL 093-436-0988 FAX 093-436-2572

すこやか Q & A

躰が おしつけになっ
ていませんか？
あなたのしつけ度チェック

Q 「最近の子どもは、躰（しつけ）ができてないね」とよく聞きます。

地域の大人として、子育て中の親として、子どもたちにどれくらいの躰ができていいのか気になります。そこで、躰について、気をつけるところを、教えてください。

A 躰は、思いつきや一度言ったからというこ

とで身につくものではありません。日常生活の中で、こんな時には、こんなふうにとにかく具体的に行動の仕方や言葉での表現方法を教えていくことが大切ではないでしょうか。

次の項目に、ご自分のしつけ方を重ねて「はい」「いいえ」でチェックしてみましょう。これは、ひとつのめやすです。ゲーム感覚でやってみましょう。

1 当たり前のこと(朝自分で起きる、顔を洗う、歯を磨く)ができたとき、よくできたね！とほめてやりましょうか？

2 言葉づかいやあいまつの仕方を教えているでしょうか？

3 家事の手伝いをさせているでしょうか？

4 ケンカ(兄弟や友達)は、原因について考えさせて、できるだけ子どもたちに解決させるようにしているでしょうか？

5 食事はできるだけ家族そろって食べ、食事マナーを教えたり、好き嫌いをなくすように努力しているでしょうか？

6 結果のめを認めず、がんばりを認めていますか？

7 電車やデパート内などで騒いんだり走り回ったりするの場でちゃんと注意していますか？

8 お金の大切さを教え、使い方を指導していますか？

9 物を大切に、大事に取り扱うことを教えていますか？

10 相手や場所に応じたあいさつや、言葉づかいができるように教えていますか？

11 人に迷惑をかける言動(うそをつく、傷つけるなど)には厳しく注意していますか？

12 テレビの視聴は計画を立てさせ、毎日家庭学習ができるように習慣づけていますか？

13 子どもの要求には、聞き入れられるものとそうでないものがあることを教えていますか？

14 親子で話す時、向き合って話すようにしていますか？

15 家族でどんな子に育てたいという話し合いができていますか？

しつけ度を、あなたに作る料理の味にたとえてみました。

0～3点	4～7点	8～11点	12～15点
甘い甘い親だと 思われています！ 子どもに好かれるために 甘さを隠しているのでは ありませんか？ 甘やかした子では心が育 ちません。 今日から、しつけにがんば りましょう！	甘さの中に少しだけ 辛さを感じますか？ 「こんなことしたら怒られるやう」 親のしつけが少し効き目も表 れてきました。 叱られるのにはいいというの ではなく、自分で判断して 行動する力を育ててしま いましょう。 時々、ほめてあげることもあ いれなく。	しつけの味がバババ わ(みこんでいます)！ 「こんなことしたらいいん」と 自分で判断する力が育ち ています。 子どもに親の気持ちや 少しわかってきているはずで す。	いい味になってます！ これが基礎となって自分 らしく生きて行きます。 しつけが着実に身につ ています。しんこで心を ゆるめてはダメです。 これからその時に、心ほ り目くほり心くほりを忘れ ないようにしましょう。

上の資料は、平成12年度に勝山町の町民会議と学力向上推進・いじめ対策委員会で作成している中の一部です。

編集後記

子どもの将来のため、子どもがすこやかに育っていくため、おとなと子どもが修練を重ねてきました。

青少年いじめストップ、非行防止、オアシス運動等の行事に子ども達も、真剣に取り組んでいる姿が伺われます。

明日を担う総ての子どもが、この子ども達と共に大きく育ってくれる事を願いながら、編集後記とします。

(山本節子)

子どもは「勉強していれば良い」といった子どもも専門化の中、大人との接点が少なくなり大人と子どもとの差別化が進み変化に対応できない子ども達が増えている今日、町民会議が大人(親)と子どもとの間で何でも話し合える場を提供し、その活動の様子を「すこやか」を通して皆に伝えられればと思っています。

(田畑弘志)

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

093・434・1111

(内線390)